令和5年度和名ケ谷中学校 2学期学習の指針(シラバス)

| 教 科 技術科 | 学年 | 1年 |
|---------|----|----|
|---------|----|----|

1 学習の目的

体験的な学習活動を通して、ものづくりやエネルギー利用及びコンピュータ活用等に関する基礎的な知識と技術を習得するとともに、技術が果たす役割について理解を深め、それらを適切に活用する能力と態度を育てる。

2 学習計画

| | 学習内容 | 学習のねらい |
|--------|-----------|---|
| 2 | ◆木製品の製作 | • 適切に工具を使い、正しく製作できる |
| 学 期 | ◆木工用具について | さしがね、げんのう、のこぎり、きり、ヤスリなどの工具の 扱い方を習得する。 |
| | | |

3 評価規準、評価材料

| | 評価規準 | 評価材料 |
|-------|-------------------------|----------|
| 知識·技能 | ・生活と技術について理解しているとともに、それ | ・作品 |
| | らに係る技能を身につけている。 | ・技家総合ノート |
| | | ・用具の使い方 |

| 思考・判断・ | ・生活や社会の中から問題を見出して、課題を | ・用具の使い方 |
|--------|-----------------------|----------------|
| 表現 | 設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善 | ・作品製作の進め方 |
| | し、表現するなどして課題を解決する力を身に | |
| | つけている。 | |
| 学びに向かう | ・よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築 | ・忘れ物・授業態度・発表 |
| 姿勢 | に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだ | ・進んで授業に取り組んでいる |
| | り、振り返って改善したりして、生活を工夫し | ・作品製作の進め方 |
| | 創造し、実践しようとしている。 | |

4 使用する副読本

| 題名 | 出版社 |
|-----------------|------|
| 技術・家庭総合ノート 技術分野 | 明治図書 |

令和5年度和名ケ谷中学校 2学期学習の指針(シラバス)

| 教科 技術科 学年 2年 |
|--------------------|
|--------------------|

1 学習の目的

体験的な学習活動を通して、ものづくりやエネルギー利用及びコンピュータ活用等に関する基礎的な知識と技術を習得するとともに、技術が果たす役割について理解を深め、それらを適切に活用する能力と態度を育てる。

2 学習計画

| | 学習内容 | 学習のねらい |
|----|---------|------------------------------|
| 2 | エネルギー変換 | ・はんだごて、ニッパ、ラジオペンチ、ドライバー等の使い方 |
| 学期 | | を理解する。 |
| | | ・電子部品のはんだづけの仕方を理解する。 |
| | 材料と加工 | ・木材の加工について、1年時の内容を把握し、適切な |
| | | 工具を選択できる。 |

3 評価規準、評価材料

| | 評価規準 | 評価材料 |
|-------|-------------------------|-----------|
| 知識·技能 | ・生活と技術について理解しているとともに、それ | ・定期テスト・作品 |
| | らに係る技能を身につけている。 | ・技家総合ノート |

| | | ・用具の使い方 |
|--------|-----------------------|----------------|
| 思考・判断・ | ・生活や社会の中から問題を見出して、課題を | ・用具の使い方 |
| 表現 | 設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善 | ・作品製作の進め方 |
| | し、表現するなどして課題を解決する力を身に | |
| | つけている。 | |
| 学びに向かう | ・よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築 | ・忘れ物・授業態度・発表 |
| 姿勢 | に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだ | ・進んで授業に取り組んでいる |
| | り、振り返って改善したりして、生活を工夫し | ・作品製作の進め方 |
| | 創造し、実践しようとしている。 | |

4 使用する副読本

| 題名 | 出版社 |
|-----------------|------|
| 技術・家庭総合ノート 技術分野 | 明治図書 |

令和5年度和名ケ谷中学校 2学期学習の指針(シラバス)

| 教 科 技術科 | 学年 | 3年 |
|---------|----|----|
|---------|----|----|

1 学習の目的

体験的な学習活動を通して、ものづくりやエネルギー利用及びコンピュータ活用等に関する基礎的な知識と技術を習得するとともに、技術が果たす役割について理解を深め、それらを適切に活用する能力と態度を育てる。

2 学習計画

| | 学習内容 | 学習のねらい |
|----|-----------|-----------------------------|
| 2 | コンピュータ基礎 | • コンピュータの使い方や文書の作成方法、カメラの使い |
| 学期 | | 方等を習得する。 |
| 力力 | プログラミング基礎 | • 手順にしたがって、自動的にものごとを処理する仕組み |
| | | について理解する。 |
| | 金属加工 | ・設計図通りに切断する |
| | | ・加工を丁寧に進めている |
| | | ・磨きを適切に行う |

3 評価規準、評価材料

| 評価規準 | 評価材料 |
|------|------|
|------|------|

| 知識·技能 | ・生活と技術について理解しているとともに、それ | ・作品 |
|--------|---------------------------------|----------------|
| | らに係る技能を身につけている。 | ・技家総合ノート |
| | | ・用具の使い方 |
| 思考・判断・ | ・生活や社会の中から問題を見出して、課題を | ・用具の使い方 |
| 表現 | 設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善 | ・作品製作の進め方 |
| | し、表現するなどして課題を解決する力を身に | |
| | つけている。 | |
| 学びに向かう | ・よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築 | ・忘れ物・授業態度・発表 |
| 姿勢 | に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだ | ・進んで授業に取り組んでいる |
| | り、振り返って改善したりして、生活を工夫し | ・作品製作の進め方 |
| | 創造し、実践しようとしている。 | |

4 使用する副読本

| 題名 | 出版社 |
|-----------------|------|
| 技術・家庭総合ノート 技術分野 | 明治図書 |